

## はじめに

本書は、「G M A R C H」<sup>1</sup> 学習院大学・明治大学・青山学院大学・立教大学・中央大学・法政大学、及び「関関同立」<sup>2</sup> 関西学院大学・関西大学・同志社大学・立命館大学を目指す受験生を対象とした古文の受験対策問題集です。

### ■編集の趣旨

志望する大学の個別の学科・学部の過去問題に取り組む前に、各大学の入試問題の特色や傾向を体感することを希図して編集しました。もちろん入試本番を意識し、詳細な解説を付した問題演習となっています。

### ■特色と利用法

- 1 <G M A R C H & 関関同立> 十大学の最近の入試問題の中から、各大学の入試レベルや傾向を踏まえた典型的・特徴的と思われる問題を精選し、可能な限り入試そのままの形で掲載しました。
- 2 各大学の問題の冒頭には、【出題分析】【対策】として、その大学の入試問題のレベルや特徴と留意点、並

びに対策を簡潔に示し、受験勉強の指針となるよう配慮しました。

3 ★印により難易度を三段階で表示し、特に難度の高い設問には難と示しました。

★ 易（標準より易しい）

★★ 標準（G M A R C H & 関関同立の標準レベル）

★★★ 難（標準より難しい）

4 受験時に費やせる解答時間の目安を示しました。本番を想定してできる限り時間内に解くことを心がけてください。

5 詳しく分かり易い解説を施した別冊「解答解説編」を付しました。チャートや図解などを用いたり、解法の極意をコラム形式にまとめるなど工夫を凝らしています。単なる答え合わせに終始せず、解説を熟読し、誤答の原因を突き止め、正解へと至る道筋を理解し、疑問が残らないように努めてください。

本書が志望校合格への一助となることを願っています。

目 次

		学習院大学										明治大学									
		(文)					(文)					(文)					(文)				
20	19	◇	18	17	◇	16	15	◇	14	13	◇	12	11	◇	出題分析・対策	立教大学	青山学院大学	明治大学	学習院大学	明治大学	立教大学
物語	評論	物語	物語	物語	物語	物語	物語	物語	日記	物語	物語	物語	物語	物語	出題分析・対策	中央大学	立教大学	物語	物語	物語	出題分析・対策
松浦宮物語	筑波問答	うたたね	出題分析・対策	出題分析・対策	出題分析・対策	出題分析・対策	出題分析・対策	出題分析・対策	更級日記	日本永代藏	浜松中納言物語	字治拾遺物語	源氏物語	源氏物語	隨筆 関の秋風	木幡の時雨	俊頬隨脳	雨月物語	物語	出題分析・対策	出題分析・対策
(文系)	(文系)	(法・グローバル他)	(文・経済他)	(文・経済他)	(法・文他)	(文)	(文)	(文)	(文)	(文)	(文)	(文)	玉鬘	蓬生	(全)	(全)	(全)	(全)	(全)	(全)	(全)
127	122	121	115	110	109	97	86	85	79	72	71	67	62	61	(法)	(商)	(文)	(文)	(文)	(文)	(文)
															56	52	51	46	42	41	35
																		22	18	17	12
																			8	7	

# 学習院大学

## 出題分析

### 【出題形式】

学部によつて違つてある。〈法学部〉と〈経済学部〉は現代文と古文だけの出題で、現代文一題、古文一題の合計二題。漢文は含まれない。〈文学部〉は現代文一題と古文一題、漢文一題の合計四題である。解答方法はマークシートによる選択問題と記述問題の併用である。

試験時間は六〇分で、古文一題を解説するのにかけられた時間は、一五～二五分程度である。

### 【課題文】

全体的には中古から近世にかけての作品が幅広く出題されていゐるが、学部によつて異なる面もある。

〈法学部〉は、中世・近世の作品が多く、ジャンルは詔語、隨筆が中心。近年は『沙石集』、『古本説話集』、その前には『梁塵秘抄』、『耳ふくね』、『政談』からの出題も見られる。〈経済学部〉は、中古から近世にかけての作品を含み、ジャンルも多様。近年は『雨月物語』、『大和物語』、『宇治拾遺物語』、その前では『うつほ物語』も出題された。

〈文学部〉も、中古から近世にかけての作品を含み、ジャンルも多様。近年では『菅笠田記』、『更級日記』、その前では『日本永代蔵』、『大和物語』などが出題された。

### 【設題形式】

翻訳の読み・書きの問題が複数、記述で出題される。記述の問題ひとつは丸の他に、活用語を適切な形に活用させる問題や抜き出し問題、掛詞を指摘する問題などが含まれる。

選択肢問題では、古語の意味、文法、敬意の方向、傍線部の内容説明、本文との内容合致問題が頻出。文学史は〈法学部〉〈経済学部〉では出題されない年度もあるが、総じて出題されることが多い。〈文学部〉では文学史は必出。和歌に関する問題は学部にかかわりず出題されるので注意したい。

### 対策

本文はほぼ一、〇〇〇字程度の長さ、設問数も六、八問が標準であるから、決して多い分量ではないが、解答時間を考えるに厳しくなる面もある。まずは古語の意味、文法、古典の知識などをしっかりと身につけて、知識で解ける問題は時間をかけて進めめる態勢を作りたし。必出の読み書きの問題は、必ずしも古語だけに限らず出題されるので、過去問に手始めに目を通して、広く知識を得ておくことが必要だ。文法では助詞・助動詞の意味の識別の他に、活用形も問われる。係り結びや前後の接続関係、活用の種類に注意して、文脈の中で適切に判断する力を養いたい。その他、敬語、和歌の修辞、文学史は必須の課題。文学史では問題文に応じた事柄が問われるのに、受験学部の傾向に合わせて、近世までおりることを通じてお好みにしておく。

●次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

播磨の国加古の駅に、丈部左門といふ博士あり。清貧を憇ひて、友とする書の外はすべて調度の絮煩を厭ふ。老母あり。孟氏の操に譲らず、常に紡績を事として、左門がこころざしを助く。その季女なるものは、同じ里の佐用氏に養はる。この佐用が家は頗る富みさかえて有りけるが、丈部母子の賢きを慕ひ、娘子を娶りて親族となり、屢々事に托せて物を餉るといへども、「口腹の為に人を累さんや」とて、敢て承ることなし。

一日、左門、同じ里の何某が許に訪ひて、いにしへ今の物がたりして興ある時に、壁を隔てて人の痛楚む声いともあはれに聞えければ、主に尋ぬるに、主答ふ。「これより西の国人と見ゆるが、伴ひに後れしよしにて一宿を求めらるに、士家の風ありて卑しからぬと見しままに、逗めまゐらせしに、その夜邪熱劇しく、起臥も自らはまかせられぬを、いとほしさに三日四日は過ごしぬれど、何地の人ともさだかならぬに、主も思ひがけぬ過し出でて、ここち惑ひ侍りぬ」といふ。左門聞きて、「かなしき物がたりにこそ。主の心安からぬもさる事にしあれど、病苦の人はしるべなき旅の空にこの疾を憂ひ給ふは、わきて胸窮しくおはすべし。そのやうをも看[X]といふを、主とどめて、「瘟病は人を過つ物と聞ゆるから、家童らもあへてかしこに行かしめず。立ちよりて身を害し給ふことなけれ」。

左門笑ひていふ。「死生命あり。何の病か人に伝ふべき。これらは愚俗のことばにて、吾們はとらず」とて、戸を推して入りつも、その人を見るに、主がかたりしに違はで、倫の人にあらじを、病深きと見えて、面は黄に、肌黒く痩せ、古き衾のうへに問え臥す。人なつかしげに左門を見て、「湯ひとつ恵み給へ」といふ。左門近く寄りて、「土憂へ給ふことなけれ。必ず救ひまゐらすべし」とて、主と計りて、薬をえらみ、自ら方を案じ、自ら煮てあたへつも、猶粥をすすめて、病を看ること同胞のごとく、まことに捨てがたきありさまなり。かの武士、左門が愛憐の厚きに泪を流して、「かくまで漂客を恵み給ふ。死すとも御心に報いたてまつらん」といふ。左門諫めて、「力なきことはな聞え給ひそ。およそ疫は日数あり。そのほどを過ぎぬれば寿命をあやまたず。吾日々に詣でて仕へまゐらすべし」と、実やかに約りつつも、心をもちゐて助けけるに、病漸減して心地清しくおぼえければ、主にも念比に詞をつくし、左門が陰徳をたふとみて、その生業をもたづね、己が身の上をもかたりていふ。

(『雨月物語』による)

(注) 播磨の国加古の駅＝兵庫県加古川市。孟氏の操＝我が子の教育のため、よい環境を得ようとはかつた孟子の母の立派な精神。口腹＝日常生活。瘟病＝疫病。伝染病。

### (問題)

(一) 傍線部1「許」、2「衾」、3「悶」、4「猶」の読みを平がなの現代かなづかいで記しなさい。

(二) 傍線部ア～ウの「に」の品詞は何ですか。もつとも適切なものを、次の1～4の中からそれぞれ一つ選びなさい。ただし、同じ番号を一度以上使つてもかまいません。

- 1 形容動詞の一部
- 2 断定の助動詞
- 3 格助詞
- 4 接続助詞

(三) 空欄[X]に入ることばとしても適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

1 ばや 2 せむ 3 けむ 4 倉る

(四) 傍線部A「いとほしさに」、B「さる事」、D「方を案じ」、E「同胞」の意味としてもつとも適切なものを、次の1～4の中からそれぞれ一つ選びなさい。

A いとほしさに

1 好きなので 2 気の毒なので 3 憎しかったので 4 うつとうしかったので

B さる事

1 もつともなこと 2 忌避すべきこと 3 秘密にすべきこと 4 ろくでもないこと

D 方を案じ

1 加持祈禱を工夫し 2 心をこめて看病し 3 病気の種類を検討し 4 薬の処方のしかたを考え

E 同胞

1 親子 2 兄弟 3 恋人 4 親友

(五) 傍線部C「死生命あり」の意味としてもつとも適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

1 死んでも靈魂は残るのだから、ことさらに死を恐れる必要はない。  
2 死ぬということは生まれ変わることであり、輪廻転生りんねは存在する。

3 人の生死は天命によるので、人の力ではどうすることもできない。

4 生きている時は魂の抜け殻のようでも、死ねば冥途では活躍する。

(六) 本文の内容にもつともよく合致するものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

1 文部左門は同じ里に住む人々を定期的に訪ねて行つて、さまざまな話をして報酬を得ていた。  
2 文部左門は妹の嫁ぎ先から金錢の援助を得ていたため、読書ざんまい三昧の日々を送ることができた。

- (七) 「雨月物語」の作者は上田秋成です。秋成とほぼ同時代に文学活動を行つた人物を、次の1～4の中から一つ選びなさい。
- 1 吉田兼好
  - 2 仮名垣魯文
  - 3 与謝蕪村
  - 4 宗祇

3 文部左門は旅人が病氣で困つてゐるのを見て、助けたらお礼をもらえるかもしれないと思った。

4 文部左門は病人が伝染病かもしれなかつたのに、かいがいしく看病したので病氣は快方に向かつた。

(八) 「雨月物語」の作者は上田秋成です。秋成とほぼ同時代に文学活動を行つた人物を、次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 吉田兼好
- 2 仮名垣魯文
- 3 与謝蕪村
- 4 宗祇